

「世界的に始まった言論封殺」と仏弟子の役割

担当:石田 2024年9月28日

前回は「EUが言論の自由を奪う」を紹介。EUコミッショナー・ブルトン、ヒラリー・クリントンの勧めでイーロン・マスクのツイッター社(X)フリースピーチを追及。ブルトンの基準に合わせるとX社に要求。EU圏を超えてEU外の選挙にも介入する暴挙。

カナダ/トルドー、仏/マクロン vs ルペン、ブラジル/ルーラ vs ボルソナーロなどの選挙で不正介入。背後にグローバリスト CIAという見方。Liverty編集部は?。しかし、MVSとJM共著「日本を弱体化させるワシントン(グローバリスト)の陰謀を潰せ!」などでも一般化してる。

今、ブラジル最高裁がXの停止命令、大規模デモ活動発生中。(及川氏 The Core 動画参照)世界統一政府作りの実験場がルーラ大統領とモラエス長官支配下のブラジル、という反グローバリストの視点。ただし、ブラジルのデモは反 Israel ではない。岸田(バイデン寄り)は石破支援、麻生(トランプ寄り)は高市支援。今後グローバリズム寄りの可能性がある。

反 Israel 感情はトランプにはない。イスラム圏の近代化に Israel の力は重要との見方かも?

仏弟子の役割:地獄の法に、「自分たちの国の指導者もまた、宇宙から来ている暗黒の使者たちに操られている」(p301)政治家、言論人等がウォークインされ、地球乗っ取り計画が進む。

CNNの報道だけのマスコミ、Trump や Putin が理解できない政治家、空気で動く大衆。悲観的事実の中で美点も認める。TheCore運動よりも、光を強めることが重要ではないか。

日本を賞賛する事実:観光客の意見では「清潔、治安がいい、礼儀正しい、親切、優しさ、秩序ある社会、落し物が戻る社会」。英国メディアの「小学生にドッキリ」で分かったこと、他国では起きない。先の大戦の見方で、日本は他国を搾取する意図は薄かった。全て国富持ち出で、台湾へは優れた人材をも派遣した。朝鮮半島のインフラは今も使用中。アジアの独立運動に日本兵が身を投じた。搾取のみの白人植民地政策とは全く異質だった。

愛を発展させるための『反省』と『靈的知識』があつてこそ、隣人愛 指導者の愛 他者の過ちを許す愛 存在の愛(慈悲 Mercy)へと発展できる。アメリカは原爆投下、無差別空襲でさえ反省できない。記念式典でオバマは原爆投下シーンで拍手した。中国は米国内のBLM運動、大統領不正選挙、コロナ拡散、蘭金黄工作等で国家弱体化を狙っていた。

慈悲心を大切にする仏弟子が認識すべきこと:『日本発の思想』が世界を変える可能性。

- * 中国が優れていると思っていること(兵法:離間の計など)を一刀両断にする英雄が必用(シヴァ神)。漢民族が優れているなら、慈悲心を示せ、朝貢は隣人愛にも達していない。朝鮮半島の両国家も、中華思想を捨てて、信仰心(感謝と精進)を持て。
- * 米国が優れているのなら、原爆投下を謝罪せよ。無差別絨毯爆撃(殺戮)を反省せよ。
- * 白人社会が優れているのなら、有色人種を搾取した植民地政策を反省せよ。反省無しに慈悲の国家にはならない。また、オバマのような恨みでは許す愛には届かない。

MVSとJMの著書より:真に排他的なのはアメリカ人、移民を入れて、働かせるのみ。日本は人を派遣して、現地の人に役に立つ仕事をしている。アメリカはわざわざ他国まで行って、大勢の人を殺してきた(MVS)「生かす愛」。フランス人が書いた『贈与論』:特攻隊は何も見返りを求めない「純粋な贈与」。西洋ではイエス様しかできなかつたことが日本人は誰でもできる。アメリカがあまりにも残酷な国だから、「自分の親や祖母を狙うアメリカを許しがたい」という気持ちで、命を犠牲にした。これが日本人の発想です(JM)「存在の愛」に近い精神。

特攻の精神は Mercy に近い? イスラムのテロとは違う。宇宙人も自己犠牲の愛は理解不能。